

2022年度職場体験事業について

本件は、2022年度職場体験事業の実施形態について、指導課と中学校長会で検討した結果、従来の形態ではなく、事業所の方の講話や、オンラインを活用した施設見学・インタビュー等の形態で実施することを報告するものです。

1 経緯

指導課では4月に、今年度の職場体験の受入について、市で保有しているリストにある2123事業所に①5日間の職場体験受け入れ、②3日間の職場体験受け入れ、③講義・オンライン形式での協力の3つの項目でアンケート調査を行いました。

5月上旬に締め切り、回答があったのは約3割でした。(参考：グラフ1)

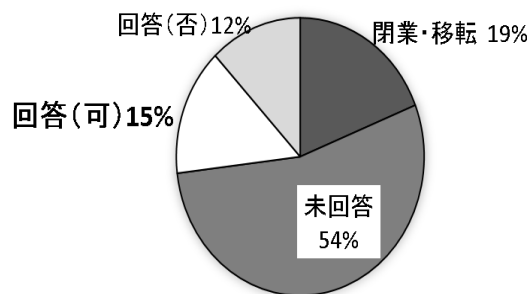
職場体験の受入可能生徒数は、5日間・3日間実施のいずれも派遣予定の生徒数に対して、充足率は約半分でした(参考：グラフ2)。

一方、講義・オンラインでの協力可能との回答があった事業所は、講義については117事業所、オンラインについては126事業所で、多くの事業所が協力していただけることが分かりました。

以上の結果を踏まえ、指導課では、①全校3日間実施、②希望した学校のみ職場体験の実施、③講義やオンライン形式等でのキャリア教育の実施の3案を提案し、中学校長会の代表と検討いたしました。

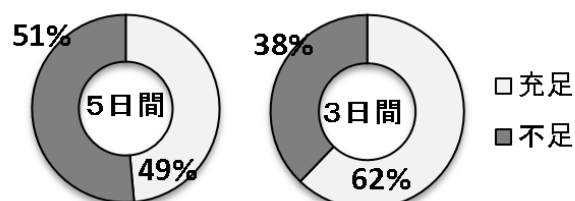
事業所で職場体験を実施するには、コロナの影響により受入事業所を新たに探すことも難しく、実施直前での受入辞退が生じる可能性もあり、解決すべき課題が大きいことから、事業所の方の講話や、オンラインを活用した施設見学・インタビュー等の形態で実施することに至りました。

【グラフ1】事業所アンケート回答率(2123事業所)



【グラフ2】職場体験

生徒数に対する派遣事業所の充足率(3期平均)



2 想定している活動

職業内容の講話、様々な業種の人を学校に招いてのワークショップ、マナー講座、オンラインでの施設見学・インタビュー等、実情に応じたキャリア教育を各学校で企画、実施します。

3 前年度までの経過及び受入可能人数の推移

2020年度及び2021年度は、年度当初に事業所への受入可能人数調査を実施した結果、その後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、職場体験を中止しています。2021年度は、講義・オンライン等の形式で実施しました。

【アンケート調査による受入可能人数の推移】

2019年度	3,345人	(充足率99%)	実施
2020年度	2,273人	(充足率67%)	中止
2021年度	1,866人	(充足率55%)	講義・オンライン形式等で実施
2022年度	1,533人	(充足率49%)	講義・オンライン形式等で実施

4 今後について

職場体験を通じて、生徒たちが実際に仕事を体験することは、町田市が推進しているキャリア教育の一環として、「働くということ」「仕事をするということ」の意味や意義を、具体的な経験から実感し、理解していくことに繋がり、大変価値のあるものだと考えております。

しかしながら、職場体験を受入れていただける事業所数は減少傾向にあります。また、廃業や事業形態の変更等により、協力事業所自体の数も減少していることから、今後も受入事業所の増加は難しい傾向にあると考えます。

そこで、2021年に実施した講義・オンライン形式等の職場体験事業の実績や、今年度の結果を踏まえ、来年度以降の職場体験事業及びキャリア教育について、中学校長会と検討を進めてまいります。